

設立経緯

私たちの歩みは 2003 年 3 月に京都・滋賀・大阪で開催された第 3 回世界水フォーラムまで遡ります。本フォーラムにおける分科会「流域における自然との共生と順応的管理による川の自然再生」において水辺環境に関わるアジア情報ネットワークの必要性が提起されました。その3年後にメキシコで開催された第4回世界水フォーラムでの分科会「アジア・モンスーン地域の河川再生」における提言を踏まえ、アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) 及び各国機関として JRRN/日本、CRRN/中国、KRRN/韓国が 2006 年 11 月に設立されました。

ビジョン

人々の出会いと誇りに支えられた良好な河川の保全・再生が創り出す、健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現を目指します。

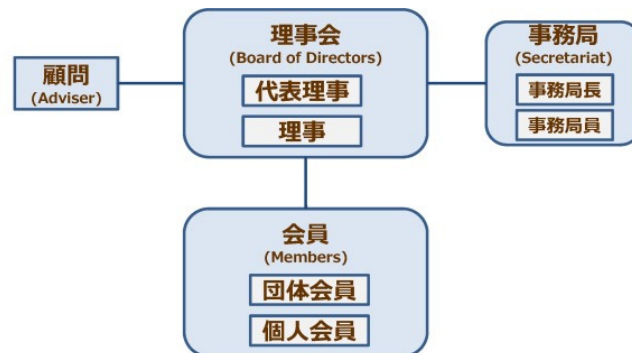
使命

日本を含むアジアにおける川づくりの担い手の出会いの広場（横断的な連携基盤）を構築します。

目標

- ① 国内外の川づくりに関する優れた事例、知見、技術、人材、仕組み等の信頼度の高い情報を蓄積し、参加者で共有する仕組みを整備します。
- ② 信用と信頼を基本とした国内外関係組織とのパートナーシップを構築し、自立した組織となります。
- ③ 川づくりを担う様々な人々が幅広く参加し、適切な役割分担のもと、川づくりに関わる新たな技術体系、事業、提言、意識共有を創り出す場を提供します。

組織体制



役職	氏名	所属等	備考
代表理事	土屋信行	(公財) リバーフロント研究所	事務局長兼務
理事	佐合純造	(株) 徳倉建設	
理事	伊藤一正	東京都市大学 大学院工学研究科 都市工学専攻 客員教授	ARRN情報委員
理事	白川直樹	筑波大学	ARRN技術委員
顧問	玉井信行	東京大学名誉教授	ARRN顧問

JRRN 会員募集中 (無料)

団体・個人を問わずどなたでも会員登録ができます。

(個人会員：800 人、団体会員：60 団体)

※2019 年 8 月現在

連絡先

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033

東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号

NMF 茅場町ビル 7 階

公益財団法人リバーフロント研究所内

電話: 03-6228-3865 Fax: 03-3523-0640

Email: info@a-rr.net

<http://www.a-rr.net/jp/>

<https://www.facebook.com/JapanRRN>

日本河川・流域再生

ネットワーク

～川づくりの担い手を増やし応援する～



活動内容

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、日本・中国・韓国などで構成される「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、国内及びアジアの川づくりの技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目標に活動しています。

国内外の川づくりの担い手が繋がり、新たな行動を起こす人材を増やし育成することを目的に、日本国内では、河川再生に関わる情報共有ツール（ウェブサイト、刊行物等）の整備や産官学民を交えた講演会や研修行事等を開催しています。また、アジアに向けては、毎年開催する国際フォーラムや海外視察団の受入支援を通じて日本が培った経験を普及しています。

情報共有 基盤整備

- 川づくりの情報共有基盤とツールの整備。
- 川への社会の関心向上の機会創出。

人材育成

- シンポジウムや技術交流行事の開催。
- 研修会を通じた川づくりの担い手の支援。

国際交流

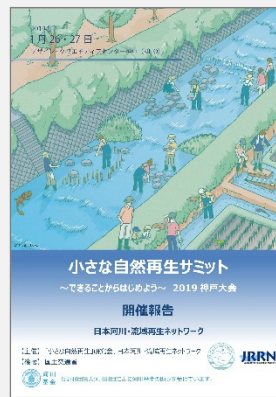
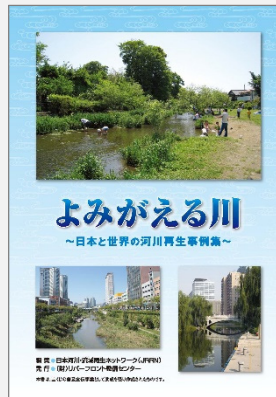
- 日本が培った川づくりの経験を海外に普及・還元。

JRRN の活動 3 本柱

受賞歴

- ・2018 年度：平成 30 年度河川基金優秀成果表彰
- ・2017 年度：第 20 回日本水大賞「国際貢献賞」
- ・2017 年度：平成 29 年度河川基金優秀成果表彰
- ・2016 年度：平成 28 年度河川基金優秀成果表彰

ローカル & グローバルな取り組みを 日本全国に普及する (情報共有基盤整備)



川づくりの人づくり (人材育成)



日本の川づくりの経験をアジアに普及する (国際交流)

